

令和3年度富山県一般会計予算

予算額 6,335億7,501万円 (+10.9%)

- ・国交付金などを活用した**コロナ対策経費の大幅な増加**により対前年度比624億円の増
- ・当初予算としては**過去最大の規模**

(単位：億円、%)

＜予算総額＞	令和3年度	令和2年度	前年度比	
			増減額	増減率
当初予算	6,336	5,712	+ 624	+ 10.9
前年度2月補正	365	216	+ 149	+ 69.0
計(14ヶ月予算)	6,701	5,928	+ 773	+ 13.0

※令和2年度2月補正額は当初同時提案分のほか2月臨時会提案分を含む

重点政策

I 新型コロナ対策 (134億円)

感染拡大防止、医療提供体制整備、事業継続・雇用維持、経済活動の回復など

II 新成長戦略枠 (68億円) 民需主導特別枠 (15億円)

- ①産業・経済の活性化
- ②女性活躍の推進、子育て環境の充実
- ③健康寿命の延伸、医療・介護の充実
- ④デジタル化・産学官連携・市町村連携の推進
- ⑤農林水産業の振興、持続可能な地域づくり
- ⑥スポーツ・文化の振興、多様な人材の活躍、SDGsの推進
- ⑦教育の充実など人材育成の推進
- ⑧観光振興など選ばれる県づくり

III サンドボックス枠 (1.1億円)

現場の視点・アイデアを活かし、新たな課題に迅速・果敢に対応 (各部局1,000万円)

行財政改革等の取組み

予算編成に着手する11月時点で税収の大幅な減少の見込み
⇒既存事業のゼロベースでの見直し、スクラップ&ビルドの徹底を指示
12月に事業見直しヒアリングを実施

(単位：件、百万円)

	事業数	見直し額
① 事業の廃止	52	93
② 事業の組替え	51	198
③ 事業費の節減	481	690
④ 中止・延期・その他	18	77
合計	602	1,058

収支見通しと財源対策

歳入・歳出両面からの取組みにより、令和2年11月時点で見込まれた**要調整額60億円**を**解消**するとともに、**新しい富山県の創造に向けた政策を推進**するための財源を確保

令和3年度当初予算編成（令和2年11月時点の試算からの財源確保等の取組み） ※一般財源ベース

〔歳入〕 ◆ 一般財源の確保

- ・ 地方交付税・臨時財政対策債の確保（地方財政対策） 約＋37億円
- ・ 県税（実質税込）・特別法人事業譲与税の減少幅の緩和 約＋26億円

〔歳出〕 ◆ 公債費の増（令和2年度の起債発行増）

- ◆ 道路除雪費等大雪への備え 約＋ 3億円
- ◆ 道路除雪費等大雪への備え 約＋ 1億円
- ◆ 行財政改革等の取組み（事業の見直し等） 約▲ 8億円
- ◆ 大型施設整備のスケジュール見直し（武道館、高岡テクノドーム等） 約▲ 5億円

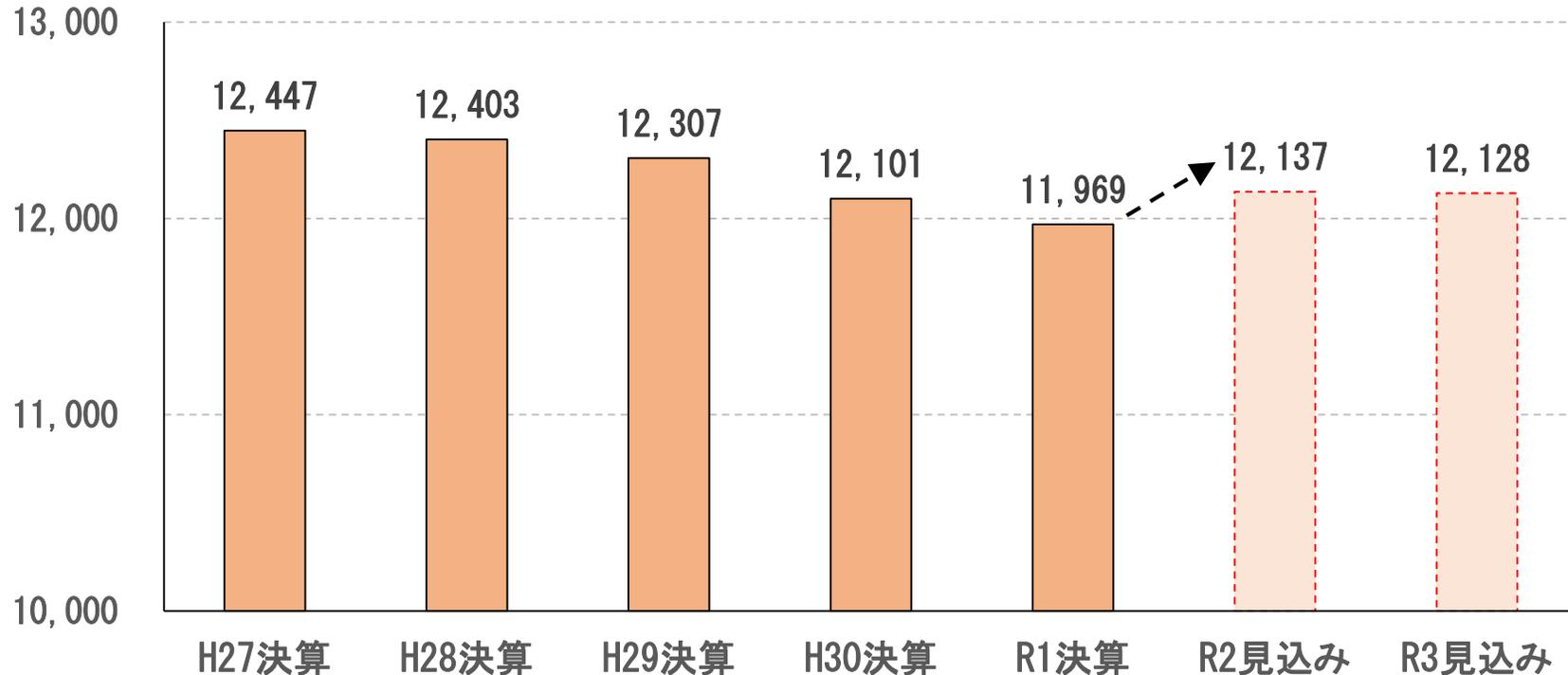
- ➡ ○ **要調整額60億円を解消**
- 行革努力等により確保した財源を**新しい富山県の創造に向けた政策を推進**するための事業に活用

経済情勢にもよるが、令和4年度以降も引き続き要調整額（R④26億円、R⑤31億円）が見込まれるなど、当面は厳しい状況が続くものと想定

県債残高と財政調整基金等の見通し

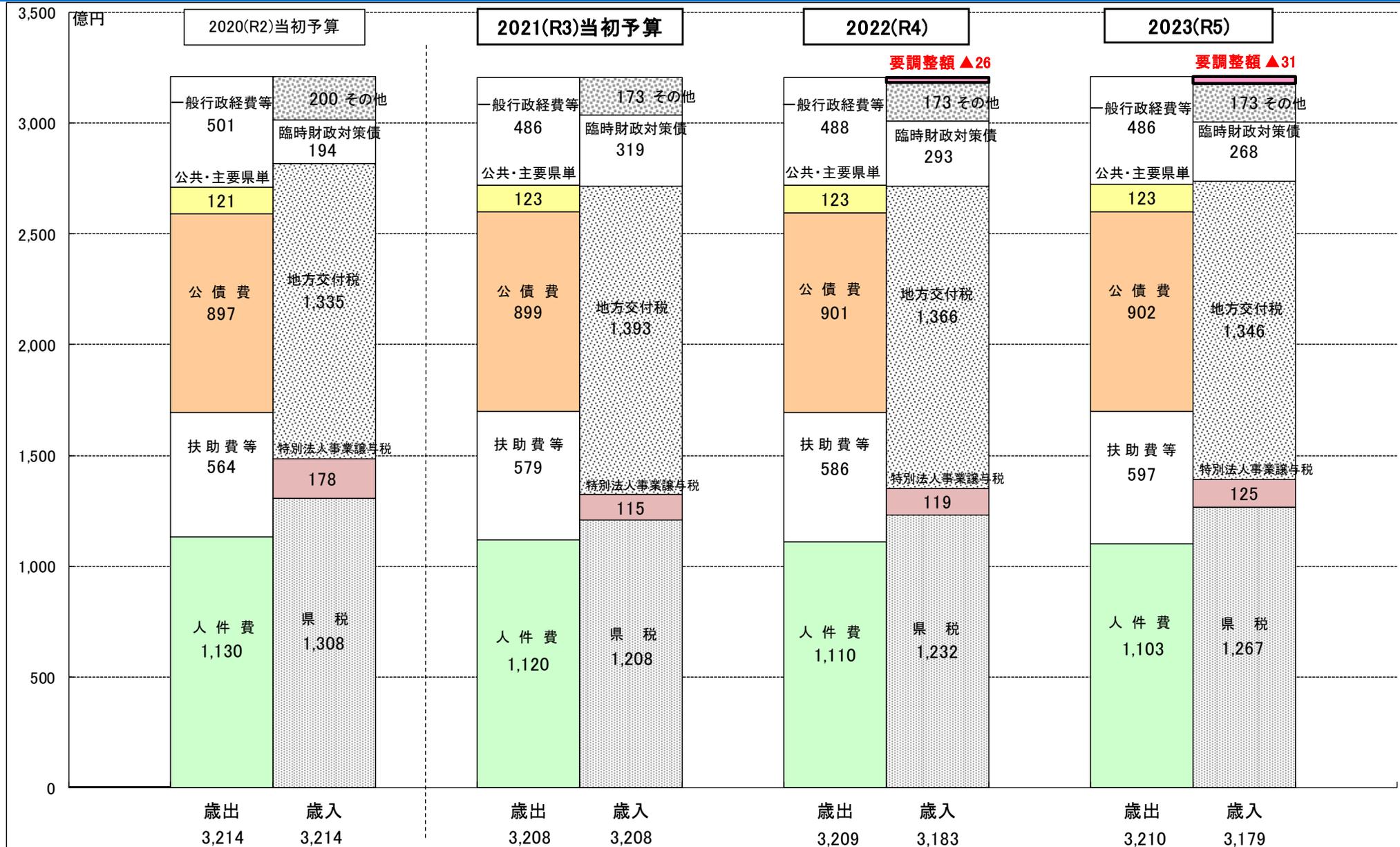
- ◆ 県債残高はR2末において増加に転じ、R3末は概ね横ばいの見込み(臨財債含む)
⇒ R3末 **県債** 残高見込み 1兆2,128億円 (R2末見込み1兆2,137億円) R2末←R1末 +168億円
[参考] R3末 **国債** 残高見込み: 990兆円 (R2末見込み985兆円) R2末←R1末 +98兆円
- ◆ 財政調整基金と県債管理基金(満期一括償還分除く)を取り崩さず予算を編成
⇒ R3末残高見込み **164億円** (標準財政規模(R2:3,008億円)の5%程度を確保)

県債残高の推移(単位:億円)



中期的な財政見通し(一般財源ベース)

令和3年2月



(注) 端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。
 (注) 県税は、都道府県間清算及び市町村交付金交付後の実質収ベース。